

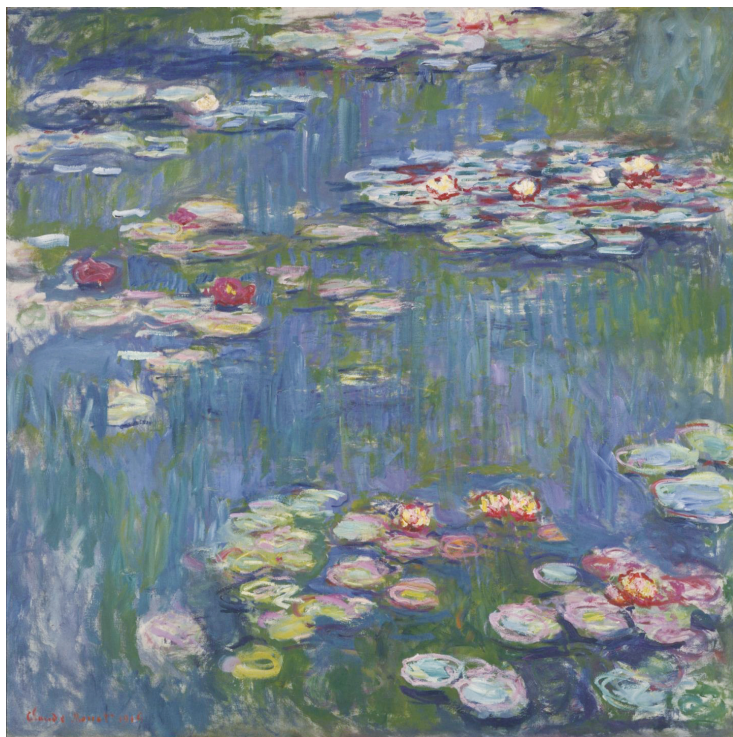
ZEPHYROS

ゼフュロス No.57

The National Museum of Western Art, Tokyo 国立西洋美術館ニュース

2013年11月20日発行

ISSN1342-8071



モネ

国立西洋美術館 × ポーラ美術館

風景をみる眼

19世紀フランス風景画の革新

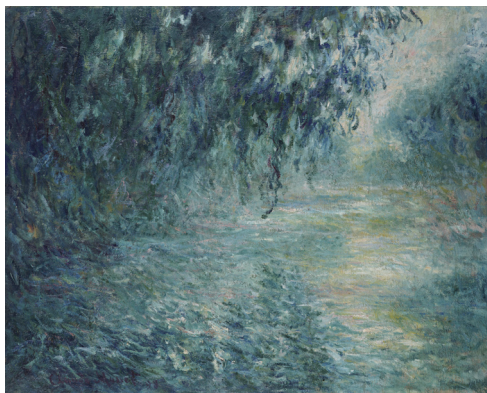
会期：2013年12月7日（土）～2014年3月9日（日） 企画展示室

企画展 「国立西洋美術館×ポーラ美術館

モネ、風景をみる眼—19世紀フランス風景画の革新—



《陽を浴びるポプラ並木》
1891年 油彩/カンヴァス
国立西洋美術館 松方コレクション



《セーヌ河の朝》
1898年 油彩/カンヴァス 国立西洋美術館

「モネは眼にすぎない、しかし何と素晴らしい眼なのか」。セザンヌのこの言葉は、生涯、戸外の光の表現を追求し続けた画家モネにもっともふさわしい賛辞ではないでしょうか。

パリに生まれたクロード・モネ (1840-1926) は、ノルマンディー地方の港町ル・アーヴルで生まれ育ち、やがてブーダンらとの出会いによって風景画に開眼します。パリに出た1860年代、ピサロやルノワール、シスレーら、後の印象派の画家たちと知り合い、移ろう光の効果の表現とともに探究しつつ、19世紀の新しい絵画を模索し、1874年からは印象派のグループ展を開催します。しかし彼の眼は、周囲の風景から受け取る感覚的で瞬間的な印象を捉えていただけではありません。後期のモネは、自らの記憶のなかで純化された、画

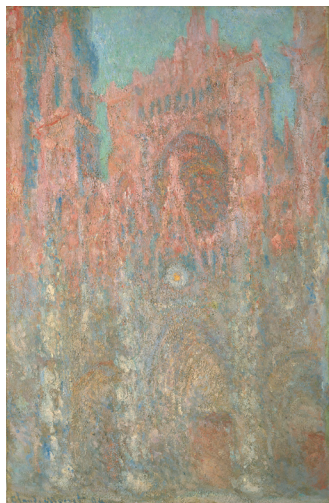
家の内なるヴィジョンともいうべき、喚起力に満ちた風景を描き出していきます。

印象派を代表するこの画家については、光と色彩、筆触分割、あるいは近代都市の主題といった観点から、これまで何度も取り上げられてきましたが、国内有数のモネ・コレクションを誇る国立西洋美術館とポーラ美術館の共同企画である本展覧会では、絵画空間の構成という観点に立ち、他作家の作品との比較を通して、風景に注がれたモネの「眼」の軌跡をたどります。

国立西洋美術館のモネ作品17点（寄託作品2点含む）は、美術館設立の礎を築いた大正期のコレクター、川崎造船所社長の松方幸次郎 (1865-1950) が晩年のモネから譲り受けた貴重な作品を中心とするものです。一



《サン＝ラザール駅の線路》
1877年 油彩/カンヴァス ポーラ美術館



《ルーアン大聖堂》
1892年 油彩/カンヴァス
ポーラ美術館

方で、やはり実業家鈴木常司(1930-2000)のコレクションをもととするポーラ美術館のモネ作品19点(1点は箱根会場のみ)の展示は国内では最多の所蔵品数を誇ります。日本を代表する2つの近代絵画コレクションによって構成された本展では、初期から晩年までモネの作品35点を軸としつつ、マネからピカソまで近代絵画の秀作を加えた総数100点強の作品と関連資料の数々を展覧します。7月にポーラ美術館で始まった本展は、東京会場ではカタログ収録作品に参考作品なども加え、規模を拡大した展示となります。

さまざまな傾向を持つ他作家の作品との比較を通じて、レアリズムの時代から象徴主義の時代へと向かう美術潮流の変化、そしてモネが描き出す絵画空間の獨創性を立

体的に浮かび上げさせます。近代風景画に革新をもたらした画家モネの「眼」の深化を、会場にいらした皆様の「眼」でご覧いただければ幸いです。

(国立西洋美術館主任研究員 陳岡 めぐみ)

表紙

《睡蓮》1916年 油彩/カンヴァス
国立西洋美術館 松方コレクション

国立西洋美術館 × ポーラ美術館
モネ、風景をみる眼－19世紀フランス風景画の革新

一般 1400円(1200円)

大学生 1200円(1000円)

高校生 700円(600円)

*中学生以下、心身に障害のある方および付添者1名は無料(入館の際に学生証・障害者手帳をご提示ください。)

* () 内は20名以上の団体料金

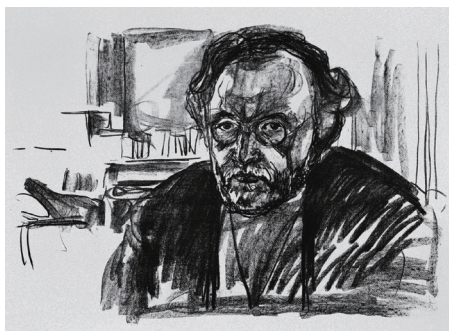
*本展の観覧券で常設展示も併せてご覧いただけます。

会期：2013年12月7日（土）～2014年3月9日（日） 新館2階 版画素描展示室

小企画展「生誕150周年記念 国立西洋美術館所蔵 エドヴァルド・ムンク版画展」



左：エドヴァルド・ムンク
《病める子ども》1894年 ドライポイント
撮影：上野則宏



上：エドヴァルド・ムンク《眼鏡を掛けた自画像》
1919年 リトグラフ

2013年はエドヴァルド・ムンク(1863-1944年)の生誕150周年にあたります。生国ノルウェーでは、オスロ国立美術館と市立ムンク美術館の共同により、世界中から代表作を集めた空前の規模の回顧展が開かれました。当館ではささやかながら、館所蔵のムンク版画34点による小企画展を開催することとなりました。

版画制作は、きわめて多産な芸術家であったムンクの画業の中で重要な位置を占めています。彼が版画制作に手を初めたのは1894年のことですが、それから50年間のうちに、総計約850点もの版画作品を生み出しました。彼が用いた技法は、銅版、リトグラフ(石版)、木版と多岐にわたり、それぞれの技法において実験的な試みを行っています。

初期の版画作品の多くは、彼自身の油彩画の主題に基づいていますが、単に油彩画のイメージを版に写すにとどまらず、しばしば新しい要素が加えられているところが注目されます。たとえば、病床に臥す少女のいる室

内の光景の下に開放感のある風景が加えられた《病める子ども》(1894年)の不思議な構成は、さまざまな解釈を誘うでしょう。また、ムンクの代表的イメージのひとつである《マドンナ》(1895年)は、原作となった油彩画よりも、縁取りをして胎児と精子を描き加えた版画作品によって広く知られています。このほか、今回の展示には、ムンクが創作した奇妙な物語に基づくリトグラフ版画集《アルファとオメガ》(1908-09年)などが出品されます。ぜひご覧ください。

(国立西洋美術館副館長 村上 博哉)

常設展 (本展は常設展料金でご覧いただけます)

一般 420円 (210円)

大学生 130円 (70円)

*小・中学生・高校生および18歳未満、65歳以上、心身に障害のある方および付添者1名は無料
(入館の際に学生証または年齢の確認できるもの、障害者手帳をご提示ください。)

* () 内は20名以上の団体料金

2014年1月7日(火)～1月9日(木)は常設展示替えに伴う一部休室のため、「エドヴァルド・ムンク版画展」はご覧いただけません。ご迷惑をおかけしますが、ご了承ください。

会期：2013年10月3日（木）～2014年1月5日（日） 新館展示室

小企画展「ソフィア王妃芸術センター所蔵

内と外—スペイン・アンフォルメル絵画の二つの『顔』

No Image

アントニオ・サウラ《大群衆》1963年、油彩／カンヴァス、220 x 515 cm、マドリード、ソフィア王妃芸術センター
©Succession Antonio Saura / www.antoniosaura.org, VEGAP, Madrid & JASPAR, Tokyo, 2013
D0357

2013-14年は、支倉常長がスペイン国王フェリペ3世の元に派遣した慶長遣欧使節団の渡欧から数えて400年に当たり、それを記念して数多くの「日本スペイン交流400周年事業」が開催されます。本館では、その一環として「ソフィア王妃芸術センター所蔵 内と外—スペイン・アンフォルメル絵画の二つの『顔』」展を開催します。これは、20世紀美術史における最も重要な運動の一つとなったアンフォルメル絵画のスペインにおける展開を、同国を代表する現代美術館であるマドリードのソフィア王妃芸術センターの所蔵品14点により紹介するものです。

アンフォルメルとは、フランス語で「不定形」を意味する言葉で、第2次大戦後のパリで勃興した、再現としての絵画ではなく芸術家の内的なヴィジョンを表現する絵画を標榜した芸術運動です。1950年代にはスペインの芸術家の間にも広まり、1960年代にかけて同国で一大潮流を成しました。本展は、スペイン

国内に活動拠点を保った芸術家2人——アントニ・タピエス（1923-2012年）とアントニオ・サウラ（1930-98年）——と、スペイン国外、アメリカのニューヨークで制作をした2人——エステバン・ピセンテ（1903-2001年）とホセ・ゲレーロ（1914-91年）——を対比させ、スペインのアンフォルメル絵画の二つの異なる「顔」を浮き彫りにすることを試みます。

（国立西洋美術館研究員 川瀬 佑介）

常設展（本展は常設展料金でご覧いただけます）

一般 420円（210円）

大学生 130円（70円）

*小・中学生・高校生および18歳未満、65歳以上、心身に障害のある方および付添者1名は無料
（入館の際に学生証または年齢の確認できるもの、障害者手帳をご提示ください。）

*（ ）内は20名以上の団体料金

EVENT イベント

展覧会に関連して次のプログラムを実施いたします。ぜひご参加ください。

国立西洋美術館×ポーラ美術館 モネ、風景をみる眼—19世紀フランス風景画の革新

● 講演会

日 時: 2013年12月7日(土) 14:00 ~ 15:30

馬淵 明子(国立西洋美術館長)

「モネと日本」

日 時: 2014年1月18日(土) 14:00 ~ 15:30

岩崎 余帆子(ポーラ美術館学芸課長)

「ポーラ美術館の印象派とモネの絵画」

日 時: 2014年2月1日(土) 14:00 ~ 15:30

吉川 一義(京都大学名誉教授)

「モネの連作とブルーストの文学」

会 場: 国立西洋美術館講堂(地下2階)

定 員: 各回先着 140 名(聴講無料、ただし聴講券と本展の観覧券が必要です。)

参加方法: 当日 12:00 より、館内インフォメーションにて、本展の観覧券をお持ちの方お一人につき一枚聴講券を配付します。会場へは開演の 30 分前からご入場いただけます。

● スライド・トーク

展覧会のみどころや主な作品について、スライドを使って解説します。

日 時: 2013年12月13日(金)、2014年1月17日(金)、2月7日(金) 各回18:00から約30分

会 場: 国立西洋美術館講堂 解説者: 陳岡 めぐみ(国立西洋美術館主任研究員)

定 員: 各回先着 140 名(参加無料。ただし、本展の観覧券が必要です。)

※ 直接講堂にお越しください(開場時間は各日も開演の 30 分前)。

生誕150周年記念 国立西洋美術館所蔵 エドヴァルド・ムンク版画展

● 講演会

日 時: 2013年12月13日(金) 14:00 ~ 15:30 ※同時通訳つき

マグネ・ブルータイグ(オスロ市立ムンク美術館、版画・素描担当上級学芸員)

「沈黙の叫び—エドヴァルド・ムンクの生涯と芸術」

会場: 国立西洋美術館講堂(地下2階) 定員: 各回先着 140 名(聴講無料、ただし聴講券と観覧券が必要です。)

参加方法: 当日 12:00 より、館内インフォメーションにて、常設展または「モネ、風景をみる眼—19世紀フランス風景画の革新」展観覧券をお持ちの方お一人につき一枚聴講券を配付します。会場へは開演の 30 分前からご入場いただけます。

ソフィア王妃芸術センター所蔵 内と外—スペイン・アンフォルメル絵画の二つの『顔』

● ギャラリー・トーク

展覧会の見どころやおもな作品について、担当研究員が作品を前にして解説します。

日時: 2013年12月20日(金) 18:00から約20分 解説者: 川瀬 佑介(国立西洋美術館研究員)

集合場所: 展示会場(新館展示室) ※参加無料。ただし、観覧券が必要です。直接集合場所にお越しください。

Fun with Collection ウィンター・プログラム

期日: 2013年12月14日(土)、15日(日) クリスマスにちなみ、次のプログラムを実施いたします。ぜひご参加ください。

● ギャラリー・トーク

常設展の見どころやおもな作品について、当館ボランティア・スタッフが作品を前にして解説します。

時 間: ①12:00 ~ 12:30 ②13:00 ~ 13:30 ③14:00 ~ 14:30

集合場所: 新館常設展入口付近 ※参加無料。ただし、常設展観覧券が必要です。直接集合場所にお越しください。

● クリスマスキャロル・コンサート

クリスマスにちなみ歌のアカベラのコンサートです。予約不要。入場無料です。自由にお立ち寄りください。

時 間: ①11:00 ~ 11:40 ②15:00 ~ 15:40 ※曲目は2回とも同じです。

場 所: 本館ラウンジコーナー

演 奏: ジャパンアカデミーフィルハーモニック

● セイビ・パズル

国立西洋美術館の作品がパズルになりました。初級編から上級編までトライしてみませんか。

予約不要。自由にお立ち寄りください。 ※参加無料。ただし、常設展観覧券が必要です。

時 間: 11:00 ~ 16:00 場 所: 常設展(新館2F休憩室)

※イベントの内容等は変更となる場合があります。

最新の情報は国立西洋美術館ホームページまたはハローダイヤル(03-5777-8600)でご確認ください。

Museum shop ミュージアム ショップ

新商品

- ちりめんベア 2種類 睡蓮／ばら
各1,050円 (税込み)



西洋美術館所蔵の人気作品のうち2点をモチーフに、総柄ちりめん生地で、手のひらに乗るサイズのかわいいぬいぐるみを作りました。
ボールチェーン付でバッグ等に付けていつでも一緒に連れて歩けます。
お友達やご家族など、大切な人へのちょっとしたプレゼントにも最適の商品です。

Café カフェすいれん



「モネ、風景をみる眼」展 特別メニュー

期間 2013年12月7日(土) ～
2014年3月9日(日)

- チキンのシャスール きのこ添え
1,500円 (税込み)

(1日30食限定)
スープ、サラダ、自家製パンまたはライス付き

モネが好んで食していたチキンソテー、シャスールソースがけにきのこをのせて、すいれん風にアレンジしました。デミグラスソース、生クリーム、オニオン等で作ったシャスールソースで仕上げた一品です。フランスワインと一緒にご賞味ください。

チケット売場、館内施設(常設ミュージアムショップ、カフェすいれん)でSuica、各種クレジットカードがご利用いただけます。(ただし、一部除外品がございます。)詳細については、当館ホームページをご覧ください。

展示カレンダー [企画展示/常設展示] 2013年11月～2014年4月

休館日 土日・祝日

NOV 11

123456789101112131415161718192021222324252627282930

システリーナ礼拝堂500年祭記念 ミケランジェロ展—天才の軌跡 9月6日(金)～11月17日(日)
ル・コルビュジエと20世紀美術(本館) 8月6日(火)～11月4日(月・休)
イタリア版画展—新収作品を中心に 9月6日(金)～11月17日(日)(新館2階 版画素描展示室)
ソフィア王妃芸術センター所蔵 内と外—スペイン・アンフォルメル絵画の二つの「顔」 10月3日(木)～2014年1月5日(日)(新館展示室)
常設展一部(本館)閉室 11月6日(水)～2014年3月9日(日)

DEC 12

12345678910111213141516171819202122232425262728293031

国立西洋美術館Xポラ美術館 モネ、風景をみる眼—19世紀フランス風景画の革新 12月7日(土)～2014年3月9日(日)(企画展示室)
ソフィア王妃芸術センター所蔵 内と外—スペイン・アンフォルメル絵画の二つの「顔」 10月3日(木)～2014年1月5日(日)(新館展示室)
生誕150周年記念 国立西洋美術館所蔵 エドヴァルド・ムンク版画展 12月7日(土)～2014年3月9日(日)(新館2階 版画素描展示室)
常設展一部(本館)閉室 11月6日(水)～2014年3月9日(日)

JAN 1

12345678910111213141516171819202122232425262728293031

国立西洋美術館Xポラ美術館 モネ、風景をみる眼—19世紀フランス風景画の革新 12月7日(土)～2014年3月9日(日)(企画展示室)
ソフィア王妃芸術センター所蔵 内と外—スペイン・アンフォルメル絵画の二つの「顔」 10月3日(木)～2014年1月5日(日)(新館展示室)
生誕150周年記念 国立西洋美術館所蔵 エドヴァルド・ムンク版画展 12月7日(土)～2014年3月9日(日)(新館2階 版画素描展示室)
常設展一部(本館)閉室 11月6日(水)～2014年3月9日(日)

FEB 2

12345678910111213141516171819202122232425262728

国立西洋美術館Xポラ美術館 モネ、風景をみる眼—19世紀フランス風景画の革新 12月7日(土)～2014年3月9日(日)(企画展示室)
生誕150周年記念 国立西洋美術館所蔵 エドヴァルド・ムンク版画展 12月7日(土)～2014年3月9日(日)(新館2階 版画素描展示室)
常設展一部(本館)閉室 11月6日(水)～2014年3月9日(日)

MAR 3

12345678910111213141516171819202122232425262728293031

国立西洋美術館Xポラ美術館 モネ、風景をみる眼—19世紀フランス風景画の革新 12月7日(土)～2014年3月9日(日)(企画展示室)
生誕150周年記念 国立西洋美術館所蔵 エドヴァルド・ムンク版画展 12月7日(土)～2014年3月9日(日)(新館2階 版画素描展示室)
常設展一部(本館)閉室 2014年3月9日(日)まで/全館休館 3月10日(月)～3月24日(月)

APR 4

123456789101112131415161718192021222324252627282930

ジャック・カロ(仮称) 4月8日(火)～6月15日(日)(企画展示室)
平野啓一郎キュレーションによる所蔵品展示(仮称) 4月8日(火)～6月15日(日)(企画展示室)

●年末年始休館・臨時休館・一部閉室のお知らせ

- 12月6日(金)は展覧会準備のため全館休館します。
- 11月6日(水)～2014年3月9日(日)は施設整備のため本館展示室を閉室します。
- 12月28日(土)～2014年1月1日(水)は年末年始休館となります。
- 2014年1月7日(火)～1月9日(木)は常設展示替のため新館2階展示室を閉室します。
- 2014年3月10日(月)～3月24日(月)は館内整備のため全館休館します。

※展覧会名、会期、展示内容等は変更されることがあります。最新情報については、館内インフォメーションでおたずねいただくか、当館ホームページをご覧ください。

※作品の保存・貸出し等の状況により、掲載された作品をご覧いただけない場合がございます。

国立西洋美術館

- 所在地…〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7
- 開館時間…午前9時30分～午後5時30分
毎週金曜日…午前9時30分～午後8時
*入館は閉館の30分前まで
- 休館日…月曜日(ただし、月曜日が祝日あるいは振替休日となる場合は翌火曜日)
*その他、臨時に休館することがあります。
- 常設展無料観覧日…毎月第2、第4土曜日、文化の日(11月3日)
- お問い合わせ…ハローダイヤル:03-5777-8600
<http://www.nmwa.go.jp/>

※誌名について…「ZEPHYROS」(ゼフュロス)はギリシャ神話の神々のひとり、西風を司る神様の名前です。西欧では暖かさや色ざまざまの花々を運び春の風をさします。

ZEPHYROS

ZEPHYROS 第57号

編集・発行 国立西洋美術館/2013年11月20日(年4回発行)
協力 公益財団法人 西洋美術振興財団
印刷 (株)アイネット



国立西洋美術館
The National Museum of Western Art